

Kandai Style

2017.5 Vol.459
関西大学通信



職員から関大生への
アドバイス

職員

から

特集

関大生への

アドバイス

学生生活を過ごす中で、学生の皆さんの「こんな事で困った」「相談したいけれどどこに行けばいいんだろう」に答えてくれる、**関西大学事務職員からのアドバイスを紹介します!**

From 学生生活支援グループ

学生生活にも光と影がありますが、学生生活支援グループはその双方を見つめ、皆さんに寄り添い、安全安心で充実した学生生活を送る支援をしています。

学生生活の光は、例えば課外活動です。当グループは多彩なジャンルの課外活動団体(届出団体)に対し、施設提供をはじめ各種相談に応じています。

学生生活の影は、学生の心に忍び寄り、高額な支払いのみならず人間関係を破壊する悪質商法、カルト団体が横行していることです。彼らはキャンパス内に入り込み、何気ない会話から皆さんの個人情報聞き出します。当グループはこうした事例の相談にも応じ、各種啓発活動も行っています。

大学の4年間、主役は皆さん自身です。それを良きものにするのも皆さんの演出次第。ただその方法に考え悩んだりしたときは、当グループの扉をたたいてください。

的場 友賀さん

From ミューズオフィス

皆さんは大学4年間で何をしたいと考えていますか? 勉強、留学、サークル、いろいろあると思います。その中で身に付けてほしい力があります。それは「チャンスをつかむ力」です。人生の好機はみんな平等に訪れます。機会を逃さず、つかめる人が成功していきます。そのためには4年間で常に新しいことにチャレンジし、多くの人と出会い、自ら成長する場を切り開いてください。その「考動力」や出会い、新しい視点が「チャンスをつかむ力」を養ってくれます。またその中で悩みがあれば身近にいる職員を頼ってください。ささいな悩みでも私たち職員と一緒に解決策を考えます。皆さんが「チャンスをつかむ力」を身に付け、「考動する関大人」として世界へ羽ばたけるよう、われわれも全力でサポートしますので、気軽に窓口にお越しください!

岡田 翔太さん

From キャリアセンター

キャリアセンターは、進路についての相談やセミナーの実施を通して、皆さんの就職・進路に対して全面的なサポートを行っています。

新入生の皆さんは、卒業後こんな職業に就きたい!という夢はありますか? 大学生活の4年間を、自分がなりたい将来像を思い描きながら過ごすことは非常に大切です。そこでキャリアセンターでは低年次生を対象に「キャリアデザイン・ミニセミナー」を開催していますので、私たちと一緒に「働く」ということについて考えてみませんか?

今後皆さんが進路を考える上で、「就職先は公務員か民間企業が迷っている」などさまざまな悩み事が出てくると思います。その際は、各キャンパスのキャリアセンターの窓口を気軽に訪ねてみてください!

松本 美優さん

From 教務センター

新学期になり、はや1カ月が経過しましたが、新生活には慣れてきましたか? 特に新入生の皆さんは、これまでの生活から大きく変化したのではないのでしょうか。高校までとは違い、大学ではあらゆることが自由です。自由だからこそ、自分でたくさん情報を集めて、判断し、「考動」することが大事です。履修の相談はもちろん、大学生活で困ったことがあれば、いつでも教務センターに来てください。職員として、先輩として、お話ができればと思っています。

大学での時間は想像以上に早く過ぎ去ってゆきます。短い大学生活が充実した時間になるように、皆さんの選択肢を一つでも増やすことができましたらうれしいです。

内藤 啓子さん

From 堺キャンパス事務室

新入生の皆さん、こんにちは! これからの大学生活に心躍らせていることでしょう。

堺キャンパス事務室は、人間健康学部生の大学生活における第一相談窓口になっています。例えば、人間健康学部における履修、海外留学、資格取得といった教務に関する相談や課外活動、ボランティア、奨学金といった学生生活全般に関することなどさまざまな相談に対応しています。

私からのアドバイスとして、まずは「HANDBOOK」やインフォメーションシステムを見るなどして、「自分で調べる」習慣を身に付けましょう。大学生活を一層充実させるためには、待ちの姿勢ではなく、主体的に行動することが大切だと思います。ご入学おめでとうございます。

工藤 竜太さん

From 図書館事務室

「図書館の中に入ってみたいけど、学生証があれば入れるのかな?」「レポートの宿題がでたけど、図書館に参考図書はあるのかな?」そもそも、図書館の本はどう探せばいいの?」「先輩が就職活動で図書館を利用しているって聞いてたけど、そもそも、図書館と就職活動ってどう関係があるの?」。これからの学生生活で、図書館を利用する機会は必ずあります。このような疑問を解消するため、図書館では、簡単な利用方法、文献の探し方、データベース等のガイダンスを実施しています。また、ガイダンスに参加しなくても、図書館カウンターでは随時、スタッフが図書館に関する疑問にお答えします。まずは気軽に、図書館へ来てください。そして、うまく図書館を使いこなして、学生生活に生かしてくださいね。

永山 大輔さん

From 総合情報学部オフィス

高槻キャンパスでは、主に総合情報学部オフィスと高槻キャンパスオフィスの二つの窓口で、皆さんの相談に応じています。科目の履修や単位についての相談など、大学での授業に関することは総合情報学部オフィスで、サークル活動やボランティア活動など、課外活動に関することは高槻キャンパスオフィスに相談ください。皆さんの疑問や不安を解決できるよう、専門のスタッフが対応します。もちろん、それ以外にも図書館やキャリアセンター、またオープン利用のできるPC教室など、皆さんの学生生活をサポートする施設は千里山キャンパスと同等に充実しています。高槻キャンパスの施設を活用し、充実した大学生活を過ごしてください!

From 奨学支援グループ

奨学支援グループでは、日本学生支援機構等の貸与型の奨学金から関西大学独自の給付型奨学金にいたるまで多種多様な奨学金制度を取り扱い、経済的側面から学生をサポートしています。

皆さんには、奨学金制度のことをもっと知ってもらいたいと思っています。なぜなら、私自身が学生時代にこのようにさまざまな奨学金制度があることを知っておけばよかった、この奨学金なら利用できた、と思うことが多々あるからです。窓口では、常に一人一人としっかりと向き合うことを心掛けており、特に家計急変等の緊急時にも安心して学生生活を送ることができるよう一つ一つ丁寧に相談に応じています。

各キャンパスの奨学金窓口では、奨学金制度の紹介パンフレットをご用意し、随時相談にも応じていますので、気軽に窓口までお越しください。

上田 果歩さん

From 国際部

国際部(第2学舎1号館2階)では、留学相談(個別/グループカウンセリング)を随時受付中!「海外に行きたい!」と考えている方は、早めの行動がカギになります。「留学したいけど、何から始めればいいのか」「私の語学力でも留学できる?」という不安がいっぱいの方でも、私たちと一緒に自分に合った留学スタイルを見つけましょう。みんなが気になる「留学計画の立て方」「英語資格」「留学費用」に関するビギナー向けのセミナーも定期的開催しています。

また、留学生との異文化交流や外国語の学習ができる空間Mi-Roomも備えていますので、「留学生と友達になりたい!」「国際交流したい!」「留学前の準備をしたい!」という方も、ぜひ気軽に国際部までお越しください。

船橋 由佳さん

藤井 雄斗さん

レポート・論文を書く能力を身に付けよう

レポートを書く・まとめる能力は学業だけではなく、アルバイトや就職活動をはじめ、皆さんの私生活でも大いに役に立ちます。今号では、レポートの種類や書き方、皆さんのライティング(文章作成)をサポートするライティングラボについて紹介します。

2 レポートの種類について～レポート課題が出た時にまず考えてほしいこと～

1 論証型レポート

集めた資料を根拠として、自分の主張を論理的に述べる(論証する)レポートです。卒業論文はこれにあたります。この形式のレポートでは「序論・本論・結論」という構成が一般的です。

レポート例▶「テレビ教育番組を活用した授業をするにあたり、教員が配慮すべき点について論理的に述べよ」

書き方については「序論・本論・結論の書き方について」で紹介しています。

3 ブックレポート

文献が指定され、その要約や、内容に対する意見などを述べるレポートです。指定文献をどの程度理解しているかが問われるという点で、理解確認型のレポートともいえます。

レポート例▶「生涯学習論2章を読み、内容をまとめよ」「教育方法論3、4章を読み、著者の主張に対する自らの解釈を述べよ」

書き方 まず、文献で取り扱っているテーマについて簡潔にまとめます。次に、文献の要旨を整理します。これは文献全体をまとめる場合もありますし、重要な部分だけをまとめる場合もありますので、レポートにあわせて確認してください。最後に内容に対する自分の意見を書きます。感想を書く場合や主張に賛同するのか、あるいは反対するのかなど、主張に対する解釈や評価が求められる場合もあります。

レポートを書くにあたって、まずはレポートの種類を吟味し、書き進めるためにはそのための資料等が必要です。効率よくレポートを書く際は、レポート執筆のスケジュールを立てることをお勧めします。



OPINION OF PROFESSOR 教育推進部 岩崎千晶准教授

レポートの書き方で困った経験はありますか？ライティングラボで実施した調査では1年次生はレポートの基本的な書き方、3・4年次生では論文構成への相談例が多く挙げられていました。

皆さんは良いレポートを書くためにどんな努力をしていますか？私は「書きたいことを見つける」ことが、良いレポートを書く近道だと考えています。書きたい気持ち

が強く、その内容が具体的であればあるほど、レポートで表現すべき内容や方法が明らかになるからです。「書きたいことを見つける」には、授業や日常生活における「なぜ」を大切に、その問いを探索してみましょう。

またレポートが完成したら見直しをしましょう！友人やライティングラボから意見ももらうのも良いでしょう。見直すことでレポートは良くなります。さらに力を付けたい人は、共通教養科目「スタディスキルゼミ(レポートを作成する)」「文章力を磨く」の受講、ライティングラボのワンポイント講座、本誌で紹介しているレポートの書き方について詳しく学べるeラーニング教材(関大LMSで公開予定)の活用をお勧めします！

1 レポート・論文とは？

A

SMAPが年内にも解散するという報道を聞いたので寂しいです。SMAPのコンサートにもよく行きましたが、いつも観客が会場を埋め尽くすほどの人気でした。

話し言葉、です・ます調、主観的

B

SMAPが、2016年12月31日をもって解散することが14日未明、明らかになった。2010年9月15日「We are SMAP! 2010 SMAP CONCERT TOUR」の東京ドーム公演にて、日本人史上初のコンサート通算観客動員数1,000万人を突破した。

書き言葉、だ・である調、客観的

レポートや論文では(B)の書き方が用いられます。

その理由

レポート・論文とは調査の結果、分かった事実とそれに基づく自分の意見をまとめたものと言えるからです。そのためレポートを書く際は「事実」とそれに基づく「意見」とを区別して書くようにしましょう。これによって書いた情報が読み手に伝わりやすい文章となり、より明確な理解につながります。客観的な表現が求められるのもこれが理由と考えられます。

3 序論・本論・結論の書き方について(論証型のレポートの場合)

例文:「どのような方法で、学生の防災・減災意識が高まるのか?」について書きたい場合の序論から本論までについて紹介します。

序論の書き方

① レポートで扱う問いを書く
(何を伝えようとしているか訴求することができます)

この場合、「学生の防災・減災意識を高める方法とは?」などがこのレポートの問いに該当します。

POINT▶より具体的で限定的な問いを立てるようにしましょう。

NG例▶「防災・減災意識を高める方法は何なのか?」という問いの場合、誰の防災意識なのか分かりません。大人なのか、子供なのかでもその方法は違う可能性があります。また「防災・減災意識」とはどういった意識なのか? 抽象的でテーマが大きいと、問いを見いだすことは容易ではありません。そこでまず調査ができる年齢層で対象者を考えます。

今回の場合は、調査対象を大学生、かつ関西大学とする調査もしやすく、テーマも限定的になります。意識調査など抽象的な調査の際は、事前に定義を決め書籍や研究論文を参考にするのが良いです。

② 問いを取り上げた意義を書く

問いを提示する必要性や他の人と違う新規性や独自性はどこにあるかを示します。

これまでの流れで、問いに関大生への防災・減災に対する意識調査とした場合、学生がどんな意識を持っているのかを明らかにすることは独自性につながります。また、関西大学ではどのような防災・減災の取り組みをしているのかを調べることからも、レポートの独自性が出てきそうです。これがこの問いを取り上げた意義となります。

その際は、これまで発表された論文や書籍を調べてみましょう。こうした調査、つまりは先行調査を基にすることで新規性と独自性を出しやすくなります。

③ 問いを明らかにする方法を書く

防災・減災意識がどうなっているのかを明らかにするためには実際の学生への調査が必要になります。どんな調査なのか、何を書くのかについて記載しましょう。

また、その調査の方法には、対象者へのインタビューや資料を調べるなどがあります。これらを具体的に記載し、問いを明らかにするための調査方法を記すことで、誰が調査をしても同じ結果になり、ぶれがでないよう再現性を確保することができます。

本論の書き方

① 結果を書く(問いを明らかにするために実施した調査の結果を書く)

結果では、アンケート調査の結果、ヒアリング調査の結果、文献調査の結果を数値データや文字データとして提示します。その際はグラフや表を利用するとより分かりやすくなります。

② 分析考察を書く(結果から分かったことやその結果になった理由・根拠を書く)

分析考察では、調査の結果から明らかになったデータを基に、関大生の防災・減災意識が高かったのか、低かったのかの結果を提示し、その理由や根拠について記します。

結論の書き方

① 全体のまとめを書く

調査し、その結果として何が言えたのか、またその理由としてどういったことが挙げられたのかを書きます。

具体的には、「今回の問いに対して、意識調査や資料調査をして、分析考察することで、その意識を高める方法が明らかになりました」といったこれまでのまとめを簡潔にします。

② 今後の課題と展望を書く

全体のまとめから、今回は解決できなかったことで次に実施すべき課題や展望があれば書きましょう。「インタビューの対象人数が足りなかった」という研究対象者数における課題や、「実際の防災訓練を見学できていない」というフィールド調査における課題を挙げるすることができます。

ライティングラボとは

学生の皆さんのライティングをサポートする施設です。レポート論文をはじめ、さまざまな文章作成のお手伝いをします。TAと呼ばれる大学院生のサポーターの指導のもと原稿が未完成の段階から相談可能で、一人でもグループでも自分の都合にあわせて利用できます。ライティングラボは総合図書館ラーニングcommons内、高槻キャンパスC棟1階にあります。まずは気軽に相談してください。

<http://www.kansai-u.ac.jp/ctl/labo/index.html>

INTERVIEW



ライティングラボの利用者
文学部2年次生 水澤 真依子さん

私はレポートの添削をしてもらいました。これまでは感想文のようにだらだらと長い文章を書いていましたが、指導を受けてからは主張を簡潔にし、根拠・理由を詳しく書くようになりました。

ライティングラボでは答えを教えてもらうのではなく、レポートを書くにはどのような方法があるか、自分が書きたいレポートにあったアドバイスがもらえます。そのおかげで今では伝わりやすく、分かりやすい文章を書くように心掛けるようになりました。

INTERVIEW



ライティングラボのTA
社会学研究科D3 福永 健一さん

書く・まとめる能力とは教養につながるものだと思います。教養が身に付くと、就職をした際にも役に立ち、誰とでも対話が可能になります。大学の4年間の中で、レポートや卒業論文などを書く機会はたくさんあり、そういった鍛錬を積み重ねることで教養は身に付いていきます。大学では教養を身に付けるチャンスがありますので、積極的に利用してもらいたいと思います。

※本記事で取り上げたレポート・論文の書き方は、「2016年(平成28年)度関西大学教育研究高度化促進費「アカデミック・ライティング力を育むための教育システム開発とデザイン原則の導出(研究代表者岩崎千晶)」」によるものです。

次回のテーマは…「関大生のニュースとの付き合い方とフェイクニュースへの注意点」

「フェイクニュース」と呼ばれる、インターネット上で発信され、ツイッターなどを通じて拡散する、事実ではないそのニュースが社会で問題になっています。そこで次号では、ウェブサイトやSNSに流れるニュース情報をどのように扱い、対処するかについて、アンケート結果を基に分析します。



エンターテインメント業界／プロレスラー

株式会社プロレスリング FREEDOMS

榎木 健二さん

関西大学第一高等学校出身
2004年経済学部卒業

やりたいことを全部することで
「本当にやりたいこと」が見えてきます。

榎木健二さんは、株式会社プロレスリングFREEDOMSに所属するプロレスラーです。病弱だった中学時代にプロレスに魅せられ、覆面レスラー・ハヤブサのファンになります。高校3年生の秋、関大の学園祭で「関西大学プロレス連合KWA」の試合を見て「入学したい!」と思い、猛勉強の末、経済学部へ合格。病弱でやりたいことができなかった反動から、大学では「やりたいことは全部する」をモットーに、KWA以外のサークルにも入り、アルバイトも掛け持ちします。KWAでは、学生だけで試合を企画し、集客までを行うプロデュース活動に取り組みます。そのため体力が限界を超え、ついにダウン。そこで「本当にやりたいことはプロレスだ」と気付き、一つの道に進むことを決意します。

「入るならハヤブサが立ち上げたプロレス団体WMF」と、社長に直談判し、経営不振だったにもかかわらずWMFに飛び込みます。デビューのためには「体重を1カ月で10キロ増やせ」と言われ、必死に食べて達成。努力のかいもあり、2005年4月に本名でプロデビュー。1年後、覆面レスラー・神威として再出発します。良い未来を運ぶシマフクロウのアイヌ名「コタン・コロ・カムイ」が名前の由来。

関西の試合は自らプロデュースし、チラシやポスターを持って回るも、断られてばかり。寒い冬の日、あるコンビニの店長がポスターを貼ってくれ、缶コーヒーまでくれたことが忘れられないとか。のちにWMFは解散しますが、先輩の誘いで現在の団体に入ります。3年前、デスマッチ企画で大けがを負いながらも、2カ月後の試合で復帰。ハヤブサがけがを押して試合に出る姿を見て勇気をもらったように、試合を見てくれる人に勇気を与えられることにやりがいを感じるという榎木さん。お客さまに「今日は楽しかった。またがんばってな」と声を掛けてもらえたときに最高の喜びを感じるそうです。最後に「諦めたことは未練が残る。だから、やりたいことは全部してほしい」と熱い思いを語ってくれました。

ある1日の
スケジュール

- 6:00 埼玉の自宅を出発
- 9:00 大阪に到着し、マネージャーと1日のスケジュール確認
- 9:30 イベント参加
- 11:00 スポンサーと宣伝広告について打ち合わせ
- 15:00 イベント会場の下見
- 17:00 イベント関係者と打ち合わせ
- 18:00 ライブで広報活動
- 23:00 トレーニング



必須アイテムは、プロレスではスタンダードなトレーニング器具で、腕立て伏せなどを行うプッシュアップバーとダンベル



Professional Wrestler

VIVA!!

学び易



化学生命工学部 化学・物質工学科

「特別研究Ⅱ」 春名匠 教授

腐食しにくい金属材料を開発して、より長寿命の製品開発に貢献したい。

社会が求める事象をテーマとした実験主体の研究を
学生に取り組みさせることによって、研究者としての資質を育てる。

春名匠教授の材料界面工学研究室では、金属の化学的な劣化現象である「腐食」について研究しています。テーマは、鉄を中心に金属の合金化を行い、組み合わせを考案し、腐食しにくい材料を探求する「高耐食性材料の開発」、経年劣化による局所的な腐食から金属が折れる理由を研究する「脆化現象の解明」、従来使用されている金属材料の表面に形成させて材料をより長持ちさせることができる薄くて耐食性の良い材料を探求する「高耐食性薄膜の開発」です。金属材料学と電気化学の観点から研究が行われています。この研究によって材料の腐食を遅らせることができると、金属製の装置や橋梁、プラントなどの寿命を延ばすことができます。「腐食の研究によって、従来5年で交換していた物が、20年以上使い続けられるようになることで利潤が生まれます。そのような研究を通して、循環型社会や省資源・省エネルギー社会に貢献しています」と春名教授。

4年次生の「特別研究Ⅰ・Ⅱ」では、実験を主体に行います。すでに解明されたものではなく、社会が求める未解明の事象について、学生一人一人が異なるテーマの研究に取り組みます。「実験では、私の考え方をあまり教えないようにしています」と春名教授は話します。研究開始時の実験計画は用意されていますが、そこから後は、学生の発想で実験が進められます。「ただ、データのばらつきやまとめ方など、必ず行き詰まることがあるので、その時だけは、これまでの経験に基づくポイントを伝え、学生と共に知恵を絞ります」そして「取り組んだ実験結果が、例えば失敗に見えたとしても、『良い結果』『次につながる結果』だと捉えられるセンスを育てていきたいですね」と春名教授は語ります。

また、研究日誌を書くことも重要な指導項目としています。日誌には毎日、日付・実験内容・データ・思い付き等を書き、最後に自分のサインをします。この日誌を作っている研究者は信頼され、その中にあるデータは信頼性のある証拠となると言います。毎日書くことを習慣付けることで、独力で研究をし、過去を振り返りながらデータをまとめる資質が育ちます。実社会で課される日々の業務日誌を事前に体験することにもなり、卒業生からは「良い習慣ができた」と感謝されているそうです。

最後に学生たちに向けて、「研究テーマを生かせる仕事に就いてもらえるとうれしいですが、どんな仕事に就いても、研究室で身に付けた、データを正確に入手し、的確にまとめ、それを分かりやすく相手に伝える能力に自信をもって、活躍してほしいと思っています」と春名教授はエールを送りました。



成子実花さん(取材時4年次生)

実家が海の近くにあり、金属がさびやすい環境だったので、以前から腐食に興味がありました。関西でも数少ない腐食専門の研究室であることから、この研究室を選びました。一人一人テーマは違いますが、春名教授の下で、先輩や同級生たちと相談し助け合いながら研究に取り組みます。



四ツ谷勇介さん(取材時4年次生)

身近なサビを化学的に見るという研究テーマに魅力を感じて選びました。研究室では、答えのない研究をします。さまざまな論文を読み、自分で考えなければ研究の成果は出ません。教授とディスカッションすることで、人間的にも成長できたと思います。



化学生命工学部 春名匠 教授

皆さんの入学時には、「研究」という、白衣を着て未知の課題に取り組む姿を想像していたことでしょう。その気持ちを忘れず、3年間はしっかりと基礎学習をしてください。想像していた姿は、4年次生で試されます。基礎学力を身に付けて、初めて夢に描いていた「研究」に取り組むことができるのです。辛抱強く努力し続けた人が、良い技術者や科学者になれるのです。



学舎がお寺に変身

3月号の「関大は100年前からエコだった」では、“もったいない”の精神で環境に優しい校舎移築を繰り返した本学の歴史をひもときました。今回紹介するのは、大学内への移築ではなく、大学の外に移築しお寺の本堂に変身した元校舎の物語です。しかも前身は京都にあった、昭和天皇の即位で使われた由緒ある建物となると、その数奇な“生涯”をたどらざるを得ません。



千里寺本堂の外観

千里寺の本堂に巨大シャンデリア

そのお寺は阪急電鉄「千里山」駅から西に歩いて3分の高台にある千里寺本堂です。周りは低層のマンションやゆとりのある戸建て住宅が並ぶ閑静な住宅街です。敷地は東西85メートル、南北50メートルですから、地域のお寺としても規模の大きな印象です。おまけに本堂は仏像を安置するスペースを別にして140畳ほどの広さで、しかも天井からは直径1.5メートルの巨大なシャンデリア灯がぶら下がっています。奥の仏像より大きく、お寺としては異様な光景で、初めての人はたいてい度肝を抜かれます。しかし建物のルーツをたどると、なるほどとうなずけます。



千里寺本堂の内部と武田達城住職

元は天皇即位の饗宴場

1928年(昭和3年)11月10日、京都で昭和天皇の即位の大礼が行われ、その饗宴場として使われた建物だったのです。『関西大学百年史』によると「京都御苑内に新造された壮麗な白木造り」ですから、シャンデリアも1灯について直径10センチメートル余りの白球が約30個も連なったもので豪華なものでした。建物は大礼後分割され、申請していた観心寺恩賜講堂(大阪府河内長野市)、檀原神宮(奈良県橿原市)と関西大学に移築されました。

京都から移築して講堂に



威徳館の内部(関西大学年史編集室提供)

本学への移築は、1932年(昭和7年)2月、千里山キャンパスに5番目の建物として竣工しました。講堂や武道場の機能をもたせ「威徳館」と命名されました。学生1,000人を収容でき、入学式や卒業式などに使われたほか、柔剣道の演舞場として学生たちが汗を流しました。

戦後は大教室としても使われましたが、1953年(昭和28年)末に、新学舎建設のため解体されました。この頃、千里山駅周辺が住宅開発などで人口が増え、千里寺の檀家も急増しました。ちょうど本堂を建設しようという気運が盛り上がった時期で、檀家の本学OBの仲介で、建物は無事に現在地に移されました。こうしてこの建物の使用目的は二転三転しましたが、戦後の千里山地区の発展が、歴史的に貴重な建物の命をつないだこととなります。そして武田達城住職によると、今でも年に1回は関西大学文化会「落語大学」のOBが本堂で寄席を開いており、本学との縁は綿々と続いています。



社会学部3年次生

鈴木 遥奈さん

がんばる姿は、誰かが見てくれています。

テレビの歴史研究やドキュメンタリーの映像制作を中心としたテレビジョンの社会学のゼミを選択している社会学部3年次生の鈴木遥奈さんは、アナウンサーを目指しています。

鈴木さんが入学当初から力を注いでいるのが、吹田市の市民祭である「吹田まつり」。先輩に誘われて運営会議に参加したのがきっかけで、学生による実行委員会である学生会に所属することになりました。学生会は、吹田市にある大学の学生と吹田市在住の学生に参加資格があります。自分の手で何かを作りたいことと、大学生活で思い出に残ることをしたいと思い参加を決めました。主な仕事は、会場の一つ、江坂会場の企画と運営です。司会の補助などをするMC部として参加した昨年の祭りでは、失敗なくスムーズに進行でき、最高の達成感を味わったため、2年次で引退しようと思ったそうです。しかし、江坂周辺を歩いていると、「また参加したい」という気持ちが強くなり、3月から始まった新期部会の代表に自ら立候補し、満場一致で承認されました。代表の仕事は、各担当部門の統括と大会実行委員会や市役所との連携です。「吹田まつり」に関わるまでは、リーダーとしての仕事をしたことがなかったという鈴木さん。学生会の仕事を通じて、物事に自発的に取り組む力が養われたのだとか。仲間が「私ほど吹田まつりのことを本気で考えている子はいない」と言ってくれたのがうれしかったと話します。がんばる姿は、誰かが見てくれているのです。

大変なのは、準備の時期が春学期試験の期間と重なること。MC部の原稿の書き直しと試験勉強の両立で、睡眠時間が短い日もしばしばあったとか。忙しいことが重なりくじけそうになったとき、仲間や先輩に相談すると、みんなが励ましの言葉をくれたので、乗り越えられたと言います。

吹田市の広報番組で学生キャスターも務める鈴木さんは、「祭り以外でも吹田市と関わることができてうれしい」と顔をほころばせます。地元に着した情報を伝えられるアナウンサーになるのが夢。「静岡県浜松市出身ですが、どんな土地でもなじめるのが私の強み」。大学卒業後は知らない土地で仕事をすることが今から楽しみだと言います。

今年で48回目を迎える「吹田まつり」。「学生会ではやりがいや達成感を得られますし、祭りに参加するだけでも楽しい時間を過ごすことができます。たくさんの方々にもっと吹田市を知ってもらい、好きになってほしい」と言います。第二の故郷という吹田市への思いが止まらない鈴木さんでした。



学生会の皆さんと



1年次生の時にMCをした時の様子

今回は、鈴木さんからのご紹介で小西優希さん（法務研究科1年次生）が登場。お楽しみに!



Haruna Suzuki

2017年度予算編成の概要

— 未来を問い、そして挑戦する。 —

学校法人関西大学 理事長 池内 啓三



1 予算編成の概要

2016年11月に創立130周年を迎えた関西大学は、130年の「伝統」に甘んじることなく、20年後に迎える創立150周年を見据えて、学園の理念(建学の精神、学是)を踏まえ、どのような人材を育成するのか、どのような学園を目指すかを全構成員が自ら考え、行動するための指針として、長期ビジョン「Kandai Vision 150」を策定しました。「多様性の時代を、関西大学はいかに生き抜き、先導すべきか」というテーマの下に、教育、研究、社会貢献、組織運営の側面から将来像を示しています。2017年度からは、20年後の将来像と前期10年の政策目標を実質化するため、5年の中期行動計画を策定し、推進します。さて、2017年度予算は、2017年3月30日開催の理事会において承認されました。

2017年度は、「国際化戦略2014-2023TRIPLE I(トリプル・アイ)構想」を推進するため、インターカルチュラル・イノベーションキャンパスを構築すべく、異文化交流によるイノベーション空間の創出に向けた整備を行います。また、2016年度に文部科学省から選定を受けた私立大学研究ブランディング事業「『人に届く』関大メディカルポリマーによる未来医療の創出」をはじめとして、学長のリーダーシップの下、全学的な独自色を大きく打ち出す研究を展開し、戦略的な情報発信を行ってまいります。創立130周年記念事業によりスタートした梅田キャンパス「KANDAI Me RISE(かんだいみらいず)」においては、未来へと飛翔する関大人のシンボルとなる都市型拠点として、学びの高度化・多様化のニーズに応え、地域・社会人・大学がともに発展できる新たな場所を創出してまいります。

2017年度の事業計画は、次の「2 事業計画の概要」のとおりです。これらの諸事業を推進するために、新規事業は戦略的に予算を配分し、既存事業についてはゼロベースの視点から費用対効果を検証し節減を図るなど、限られた財源の有効活用を徹底するとともに、財務基盤の安定に向けて努力する所存です。

2 事業計画の概要

2017年度における教育研究活動の事業計画のうち、主なものは次のとおりです。

(1) 教育研究活動関係

ア 教学IR[Institutional Research(インスティテューショナル・リサーチ)]による学修成果可視化の推進

成績や履修状況などの客観的データ(直接評価)に加え、学習意欲、学習経験、満足度など学修状況に関する学生へのアンケート調査(間接評価)を行い、データを組織的に収集・分析し、可視化することによって、学生本位の教育改善につなげていきます。全学的な入学時調査並びに卒業時調査に加え、一部の学部で既に実施している、上位年次を対象とするパネル調査や卒業後の調査など、調査範囲を拡大し、その分析結果を学生にフィードバックするシステムを構築します。

イ 「国際化戦略2014-2023TRIPLE I(トリプル・アイ)構想」の推進

外国語(英語)教育体制の充実を図るための環境を整備し、本学学生が国際的なコミュニケーション力、共感性、創造性、積極性、そして、異文化適応能力を養う異文化イノベーション教育(Intercultural Immersion Initiatives(インターカルチュラル イノベーション イニシアチブズ))を展開します。

2017年度からは、アクティブ・ラーニングを通じて国を越えた学生間の国際交流を促進させる「グローバルPBL(Project/Problem Based Learning(プロジェクト/プロブレム ベースド ラーニング):プロジェクト型・課題探求型学習)」の手法を取り入れた授業を開講します。



[Mi-Room]

また、英語でのコミュニケーションを基本とし、学生が主体的に異文化交流・国際体験をでき、留学生との共修や交流を積極的に行うMi-Room(エムアイ・ルーム)(Multilingual Immersion Room(マルチリンガルイマージョンルーム))の充実を図ります。

ウ 大学4年間を通じて英語力を醸成する英語新カリキュラムの充実

2015年度からスタートした英語新カリキュラムでは、eラーニングを活用した1年次生の語彙学習、2年次生の文法・語法学習を実施しています。それに加え、3・4年次生用の選択科目「英語V、VI」は「英語I～IV」の上位レベルと位置付け、4技能の上級スキルトレーニングとともに、各学部の専門教育科目により近いトピックを英語で学ぶことができるようになりました。これにより、大学在学中の4年間、英語を学び続ける環境が完成します。

エ 社会学部創立50周年記念行事及び政策創造学部創立10周年記念行事の実施

1967年に開設した社会学部では、創立50周年を記念して、関関同立の関西四大学社会学系学部によるシンポジウム開催や、50周年記念誌の発刊などの記念行事を実施します。また、2007年に開設した政策創造学部では、創立10周年を記念して、記念シンポジウムの開催や、学部の紀要である『政策創造研究』の記念号発刊などの記念行事を実施します。

オ 文部科学省私立大学研究ブランディング事業に係る戦略的な研究体制整備の推進

文部科学省私立大学研究ブランディング事業への申請に向け、全学的な優先課題として推進する研究プロジェクトを、戦略的に創出する体制を強化するとともに、2016年度に採択された「『人に届く』関大メディカルポリマーによる未来医療の創出」(取組期間5年)に対する支援を行います。



KUMP : 3M for 3H
Materials, Mechanics and Medicine for Human, Health and Happiness

[KU-SMARTプロジェクト概略図]
(Kansai University Smart Materials for Advanced and Reliable Therapeutics)

カ 梅田キャンパス事業

「スタートアップ・カフェ」では、本学学生をはじめ校友、一般社会人に対して、起業・創業に関する相談や多様な啓発プログラムを実施します。また、校友や一般社会人を対象とした異業種交流サロン「KANDAI Me RISE(かんだいみらいず)倶楽部」では、本学教員や外部の専門家などを招き、会員の資質向上及び人的ネットワーク拡大に資するイベント等を実施します。



[スタートアップ支援セミナー]

キ キャリア形成及び就職支援の充実

梅田キャンパスを含む各キャンパスにおいて、学生一人ひとりの勤労観・職業観を涵養し、自らのキャリアを導き出す力を育成するため、多様なキャリア形成支援プログラムを展開し、企業等の採用活動の動きを踏まえ、時宜に応じた就職活動支援プログラムを推進します。また、国際インターンシップやグローバル企業体感プログラム等の充実を図り、グローバル人材養成プログラムを推進します。

ク グローバル社会で活躍できる人材養成に資するエクステンション講座の実施

UCLA(カリフォルニア大学ロサンゼルス校)のエクステンション機関と締結した部局間協定に基づき、「UCLA Extension提携オンライン講座」を開講します。開設初年度は社会人(卒業生・一般)限定で開講し、以降3カ年計画で本学学生、大学院生にその対象を拡大し、各学部等教育における「補完」的な位置づけとして活用されるよう、内容を厳選して講座を開講していきます。

この他にも、教育研究の質の向上のための様々な施策を推進します。

(2) 教育研究施設設備の整備充実関係

ア 千里山東体育館建替工事

1963年3月に建設し老朽化が進んでいる千里山東体育館の建替えを行います。2017年1月から5月に既存体育館の解体工事を行った後、5月に着工し、2018年3月に竣工します。

新たな体育館は、延床面積約6,900㎡、鉄骨造一部鉄筋コンクリート造地下1階地上3階建て、地下1階に器械体操練習場、1階に体育会部室、会議室、AT(アスレチックトレーナー)ルーム、2・3階にアリーナ、フィットネススタジオなどを設置する予定です。



【千里山東体育館 外観 イメージパース】

3 収支予算書

予算書については、私立学校振興助成法による学校法人会計基準に定められた『資金収支予算書』と『事業活動収支予算書』の2種類を作成することになっています。

『資金収支予算書』は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、予算編成を通じて計数化することにより、収入と支出を科目別に明らかにし、かつ、支払資金の収入と支出のてん末を明らかにするものです。

『事業活動収支予算書』は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、事業活動収支計算の基準に基づいて計数として表示したものです。学校法人の諸活動に伴う収支を経常的な収支と臨時的な収支に区分し、それぞれの収支の均衡状況とその内容を明らかにすることによって、学校法人の経営状況が健全に維持されているかどうかを示すものです。

『貸借対照表』は、学校法人の一定時点における資産、負債、純資産をもって財政状態を示すものです。決算時に作成することになっていますが、本学では予算時にも年度末の財政状態をよりわかりやすくするために、2016年度補正後予算及び2017年度予算を踏まえ、『予想貸借対照表』を作成しています。

4 収支予算の概要

(1) 資金収支予算について

2017年度資金収支予算は、12ページに掲載の『資金収支予算書(総括)』のとおりです。

資金収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入などの法人に帰属する収入のほか、前受金収入なども含め、549億8,200万円となりました。

資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動及び法人の運営に必要な諸経費、施設設備費のほか、借入金返済などの支出も含め、567億8,500万円となりました。この結果、差し引き18億300万円を前年度繰越支払資金154億2,000万円から充当し、翌年度繰越支払資金は136億1,700万円となりました。

(2) 事業活動収支予算について

2017年度事業活動収支予算は、12ページに掲載の『事業活動収支予算書(総括)』のとおりです。

経常的な収支のうち、教育及び研究活動の収支状況を表す教育活動収支では、学生生徒等納付金、手数料、経常費等補助金などの教育活動収入から、人件費や教育研究経費などの教育活動支出を差し引いた教育活動収支差額は3億4,200万円の支出超過となり、対前年度比較で5億5,900万円の減となりました。また、主に財務活動の収支状況を表す教育活動外収支差額は3億7,700万円の収入超過となり、この結果、経常収支差額は3,500万円の収入超過、対前年度比較で4億6,500万円の減となりました。これに天六キャンパスの売却差額を含む施設設備に対する寄付金や補助金、資産の処分等にかかる臨時的な収支を表す特別収支差額44億7,100万円の収入超過を加え、予備費を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は40億600万円の収入超過となり、対前年度比較で37億6,200万円の増となりました。一方、基本金組入額は、施設設備あるいは将来の施設取得に係る積立金や基金などに充当するもので、37億9,900万円となり、対前年度比較で19億5,600万円の減となりました。

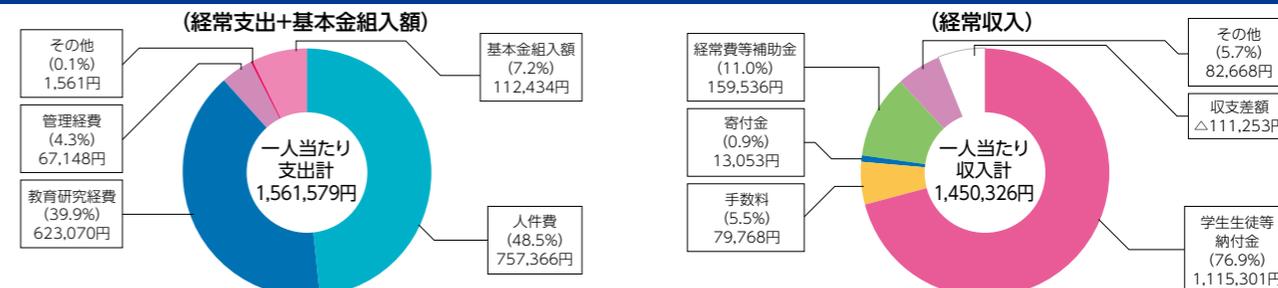
2017年度予算における事業活動収支の均衡状況を表す当年度収支差額は、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を差し引いた2億700万円の収入超過となり、対前年度比較で57億1,800万円の増となりました。この結果、当年度収支差額に前年度繰越収支差額を加えた翌年度繰越収支差額は、317億4,900万円の支出超過となりました。

また、この累積収支差額のほか、建物などの取得に際し、借り入れた借入金の未返済額にあたる基本金未組入額が90億2,900万円ありますので、実質上の繰越収支差額はこれをあわせた407億7,800万円の支出超過となります。

なお、2017年度の予算書をはじめ、関西大学の財務情報を「関西大学ウェブサイト」に掲載しておりますので、一度ご覧ください。

<http://www.kansai-u.ac.jp/zaimu/>

2017年度 事業活動収支予算における「学生生徒等一人当たりの経常的な支出とこれを賄う収入」



(注) 1 事業活動収支予算における経常的な支出(教育活動支出、教育活動外支出、基本金組入額)及び収入(教育活動収入、教育活動外収入)の予算額を、科目ごとにそれぞれ予算学生数33,833人(大学院・学部・留学生別科・高校・中学校・小学校・幼稚園の学費納入者合計)で除して、学生生徒等一人当たりの平均値を示したものである。
2 「基本金組入額」とは、校地、校舎、機器備品、図書などの取得、あるいは、そのための借入金の返済、又は将来取得のための積立金などの主として資本的支出に充てる額である。

資金収支予算書(総括) 2017年4月1日から2018年3月31日まで

科目	支出の部			収入の部			
	2017年度予算	2016年度予算	増減	科目	2017年度予算	2016年度予算	増減
1 人件費支出	25,642,307	27,528,579	△1,886,272	1 学生生徒等納付金収入	37,755,194	37,696,789	58,405
2 教育研究経費支出	14,966,513	15,139,997	△173,484	2 手数料収入	2,686,724	2,713,640	△26,916
3 管理経費支出	2,081,860	1,954,367	127,493	3 寄付金収入	450,000	1,162,000	△712,000
4 借入金等利息支出	63,255	61,395	1,860	4 補助金収入	5,401,146	5,435,358	△34,212
5 借入金等返済支出	1,486,620	1,378,620	108,000	5 資産売却収入	4,959,775	179,171	4,780,604
6 施設関係支出	4,350,464	7,874,167	△3,523,703	6 付随事業・収益事業収入	1,113,155	1,092,982	20,173
7 設備関係支出	1,289,582	1,653,735	△364,153	7 受取利息・配当金収入	440,308	344,695	95,613
8 資産運用支出	4,482,954	4,313,942	169,012	8 雑収入	1,227,259	1,398,867	△171,608
9 その他の支出	3,433,674	2,968,751	464,923	9 借入金等収入	1,000,000	2,600,000	△1,600,000
10 予備費	500,000	500,000	0	10 前受金収入	6,284,973	6,278,587	6,386
11 資金支出調整勘定(小計)	△1,511,700	△3,342,721	1,831,021	11 その他の収入	3,139,903	10,552,614	△7,412,711
12 翌年度繰越支払資金	56,785,529	60,030,832	△3,245,303	12 資金収入調整勘定(小計)	△9,475,945	△7,709,935	△1,766,010
	13,617,311	15,420,348	△1,803,037	13 前年度繰越支払資金	54,982,492	61,744,768	△6,762,276
				収入の部合計	15,420,348	13,706,412	1,713,936
支出の部合計	70,402,840	75,451,180	△5,048,340	収入の部合計	70,402,840	75,451,180	△5,048,340

(注)「2016年度予算」は第2次補正後予算を示す。

事業活動収支予算書(総括) 2017年4月1日から2018年3月31日まで

科目	2017年度予算			2016年度予算			増減
	2017年度予算	2016年度予算	増減	2017年度予算	2016年度予算	増減	
1 学生生徒等納付金	37,755,194	37,696,789	58,405	1 資産売却差額	4,414,473	148,171	4,266,302
2 手数料	2,686,724	2,713,640	△26,916	2 その他の特別収入	117,890	160,990	△43,100
3 寄付金	447,000	1,156,000	△709,000	特別収入計	4,532,363	309,161	4,223,202
4 経常費等補助金	5,399,256	5,407,368	△8,112	科目	2017年度予算	2016年度予算	増減
5 付随事業収入	1,113,155	1,092,982	20,173	1 資産処分差額	61,026	65,159	△4,133
6 雑収入	1,227,259	2,855,055	△1,627,796	2 その他の特別支出	0	0	0
教育活動収入計	48,628,588	50,921,834	△2,293,246	特別支出計	61,026	65,159	△4,133
科目	2017年度予算	2016年度予算	増減	特別収支差額	4,471,337	244,002	4,227,335
1 人件費	25,639,177	27,466,350	△1,827,173	予備費	500,000	500,000	0
2 教育研究経費	21,079,481	21,109,369	△29,888	基本金組入前当年度収支差額	4,006,763	244,604	3,762,159
3 管理経費	2,251,557	2,128,813	122,744	基本金組入額合計	△3,799,428	△5,755,014	1,955,586
4 徴収不能額等	0	0	0	当年度収支差額	207,335	△5,510,410	5,717,745
教育活動支出計	48,970,215	50,704,532	△1,734,317	前年度繰越収支差額	△31,956,815	△26,446,405	△5,510,410
教育活動収支差額	△341,627	217,302	△558,929	翌年度繰越収支差額	△31,749,480	△31,956,815	207,335
科目	2017年度予算	2016年度予算	増減	(参考)			
1 受取利息・配当金	440,308	344,695	95,613	事業活動収入計	53,601,259	51,575,690	2,025,569
2 その他の教育活動外収入	0	0	0	事業活動支出計	49,594,496	51,331,086	△1,736,590
教育活動外収入計	440,308	344,695	95,613				
科目	2017年度予算	2016年度予算	増減				
1 借入金等利息	63,255	61,395	1,860				
2 その他の教育活動外支出	0	0	0				
教育活動外支出計	63,255	61,395	1,860				
教育活動外収支差額	377,053	283,300	93,753				
経常収支差額	35,426	500,602	△465,176				

(注)「2016年度予算」は第2次補正後予算を示す。

予想貸借対照表 2018年3月31日

科目	2017年度末			2016年度末			増減
	2017年度末	2016年度末	増減	2017年度末	2016年度末	増減	
資産の部				純資産の部			
固定資産	205,232,660	201,932,980	3,299,680	基本金	221,588,308	217,788,880	3,799,428
有形固定資産	118,852,720	119,500,556	△647,836	第1号基本金	198,062,362	194,314,888	3,747,474
特定資産	82,432,389	78,404,876	4,027,513	第2号基本金	100,000	100,000	0
その他の固定資産	3,947,551	4,027,548	△79,997	第3号基本金	19,975,946	19,962,992	12,954
流動資産	14,877,069	17,380,885	△2,503,816	第4号基本金	3,450,000	3,411,000	39,000
資産の部 合計	220,109,729	219,313,865	795,864	繰越収支差額	△31,749,480	△31,956,815	207,335
負債の部				翌年度繰越収支差額	△31,749,480	△31,956,815	207,335
固定負債	19,884,921	20,724,649	△839,728	純資産の部 合計	189,838,828	185,832,065	4,006,763
流動負債	10,385,980	12,757,151	△2,371,171	負債及び純資産の部 合計	220,109,729	219,313,865	795,864
負債の部 合計	30,270,901	33,481,800	△3,210,899				

学部・研究科ピックアップ

法学部／法学研究科

ガイダンスが開催されます

6月に、基礎演習と特修プログラムに関するガイダンス（1年次生対象）が開催されます。基礎演習では、基幹科目の次のステップとして、少人数クラスで学ぶことができるようになっていきます。特修プログラムには「法曹」、「公共政策」および「英語で発信する政治学」の各プログラムがあり、これらに関連する講義科目と演習科目を効率よく履修できるようになっています。ガイダンスで募集方法や科目内容の説明があります。学生生活を有意義に過ごすためにも、ぜひ参加してください。
(副学部長 寺川永教授)

文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

優秀博士論文の出版

東アジア文化研究科では優秀博士論文が毎年1冊ないし2冊出版されています。昨年は韓国の留学生・李曉辰(イ・ヒョジン)さんの博士論文が「京城帝国大学の韓国儒教研究——「近代知」の形成と展開」(勉誠出版)として刊行されました。近代東アジアの文化交渉をめぐる力作です。李さんは現在、ハイデルベルク大学講師を務めています。(東アジア文化研究科副研究科長 吾妻重二教授)



経済学部／経済学研究科

国際社会で活躍する人になろう

経済学部のGoLDプログラムは、海外へ出向き語学や日頃学んでいる経済学の知識を駆使して世界経済を体感するための演習科目です。写真はベトナム・ダナン食品加工会社。学生たちはチャン社長から、日本の企業経営の素晴らしさを国際語である英語で世界に発信するよう激励されました。
(北渡道子教授)



各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部／商学研究科

BestA EAMが本格実施されます

商学部では、イギリスで実施する海外ビジネス英語プログラムBestA (Business English Study Abroad、通称ベスタ)の参加者を募集しています。他国の学生と一緒にビジネス・スクールの講義を受講するEAM(English and Management)をプログラムに組み込みました。興味がある人は、説明会、パンフレット等を参照してください。
(小井川広志教授)



社会学部／社会学研究科

国際シンポジウムのご案内

7月1日(土)13時~17時に関西大学梅田キャンパスでメディア専攻主催の国際シンポジウム「Are You Second Offline?」(あなたはセカンドオフライン?)が開催されます(参加無料)。スマートフォンやスマートグラスが作る社会像について、世界中から集まったモバイルコミュニケーション研究者が熱く議論します。日本語通訳も付きますので、社会の未来に関心がある方はぜひご参加ください。
(学生主任 小笠原盛浩准教授)

政策創造学部／ガバナンス研究科

ニュージーランド英語研修の開催

2016年度、第8回目を迎えた海外英語研修が国立ワイカト大学で開催され、14人の学生が参加しました。今年度のプログラムではニュージーランドの農業と経済に関する専門講義、野外活動を通して現地学生との交流が行われ、多様性豊かなニュージーランド社会について理解を深めました。
(権南希准教授)



外国語学部／外国語教育学研究科

学部卒業式と成績優秀者・社会的活躍者の表彰式

3月18日に学部卒業証書授与式が挙行されました。2年次の海外留学(SA)プログラムを経て、4年間で成長した外国語学部生の姿はとも誇らしいものでした。卒業式では、SA留学先大学からのお祝いメッセージもあり、同時に、成績優秀者・社会的活躍者の表彰状授与も行われ、成績優秀者には記念品も授与されました。外国語学部では、毎年このような成績優秀者・社会的活躍者の表彰制度を実施しています。ぜひ、在学生の皆さんも応募してください。
(水本篤教授)

人間健康学部／人間健康研究科

教育後援会が開催されます

本学は、毎年5月中旬の日曜日に、千里山キャンパスで教育後援会を開催しています。その際、来学されたご家族が皆さんの学校生活について、教職員とお話する機会があります。そこで、普段から就学状況の他、課外活動や卒業後の進路などを含めたご自身の行動や考えについて、ご家族と話しておかれることをお勧めします。また、学業や就職活動については、「導入演習」をはじめさまざまな授業での課題を通して文章を書く力を付け、キャリアセンターを早めに活用して情報収集しておくとういでしょう。
(志岐幸子教授)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

5月は人生の分岐点

大学2年次生、3年次生にとって5月は特にゴールデンウィークがあるぐらいで、特別な月ではないと思いますが、1年次生にとっては新しい生活が始まって1カ月たち、疲れがたまってきた頃だと思います。実はこの5月からの2カ月の過ごし方が、大学を4年で卒業できるかどうか大きく影響してきます。新生活での疲れが少なかった状態で、高校よりかなり難しい授業が続くと、どうしても逃げ出したい気持ちになるかもしれません。しかし、ここで欠席してしまうと、さぼり癖がつき、授業が

分からなくなり、7月に行われる春学期試験では散々な結果になります。1年次生は最低でも春学期20単位、できれば25単位修得を目指してがんばってください。春学期20単位以上修得できるかどうかは4年で卒業できるかどうかの目安になります。大学4年次生と修士課程2年次生にとって5月は就職活動の正念場。6月の本格始動前の会社説明会や事前面談など、多数のイベントに参加し、心身ともに疲れているでしょう。でも、就職活動はがむしゃらにやれば良いものではありません。指導教員、キャリアセンター事

務職員などとしっかり相談して計画的に活動してください。決して、研究活動をおろそかにしないように。特に修士課程の学生にとっては研究活動していることが、技術系としての人生を送る上での必須条件です。スケジュール管理をしっかりと、研究活動と就職活動を両立してください。
(化学生命工学部副学部長 青田浩幸教授)

Attention 大学からの重要なお知らせ

2017年度 春季人権 啓発行事

下記の要領で、人権問題に関する講演会を開催します。多くの学生・教職員のご参加をお待ちしております。なお、詳細については案内パンフレット「人権を考える」を参照してください。手話通訳、パソコン文字通訳を準備いたしますので、必要な場合は、開催日の1週間前をめぐり学長課[TEL:06-6368-1416(直通)]へご連絡ください。

【千里山キャンパス】

5月15日(月) 第3時限	テーマ：「ともに学び、ともに育つ」教育の今～当事者の経験から～ 講師：二羽泰子氏(関西国際大学 非常勤講師) 時間：13:00~14:30 場所：千里山キャンパス 第1学舎 A401教室	5月22日(月) 第5時限	テーマ：スーダンの文化と宗教が障害者の状況に与えている影響～教育・職業・法律の観点から～ 講師：Hisham Elser Bilal Salih(ヒシャム・エルセル・ビラル・サリフ)氏(筑波大学人間学 研究員) 時間：16:20~17:50 場所：千里山キャンパス 第2学舎 F401教室
5月17日(水) 第3時限	テーマ：部落差別の現状と問題解決に向けた基本認識～部落差別解消推進法の制定を受けて～ 講師：村井茂氏(一般財団法人大阪府人権協会 代表理事) 時間：13:00~14:30 場所：千里山キャンパス 第1学舎 E502教室	7月6日(木) 第2時限	テーマ：スポーツ・メカイベントの政治～ジェンダー、セクシュアリティ、反帝国主義、反植民地主義の視点から～ 講師：Heather Sykes(ヘザー・サイクス)氏(トロント大学オンタリオ教育研究所 准教授) 時間：10:40~12:10 場所：千里山キャンパス 第1学舎 E402教室 <small>*講演は英語で行われます。</small>

【高槻キャンパス】

5月23日(火) 第3時限	テーマ：報道と人権 講師：常岡浩介氏(フリージャーナリスト) 時間：13:00~14:30 場所：高槻キャンパス TB301教室
---------------	---

【高槻ミュージアムキャンパス】

5月11日(木) 第3時限	テーマ：「シベリア抑留」とは、何だったのか? 講師：照屋林昇氏(シベリア抑留語る会・シベリア抑留者遺族会) 時間：13:00~14:30 場所：高槻ミュージアムキャンパス ミュースホール
---------------	--

【堺キャンパス】

5月9日(火) 第3時限	テーマ：「母子健康手帳」が世界を変える! 講師：萩原明子氏(国際協力機構(JICA)国際協力専門員(保健)) 時間：13:00~14:30 場所：堺キャンパス SB302教室
--------------	--

専門職大学院トピックス

臨床心理専門職大学院

新たな国家資格、「公認心理師」とは
2015年9月、公認心理師法が公布されました。公認心理師法によると、「公認心理師」とは、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、心理に関する支援を要する者に対してさまざまな相談や援助を行ったり、心理状態を観察・分析する者と定義されています(一部省略)。国家資格であるため、資格を得るためには国家試験を受験し、合格しなければなりません。また、職種定義以外に、資格要件や有資格者の義務などが法律で規定されており、規定に違反すると罰則が設けられています。「公認心理師の「師」という文字は、広辞苑によると、「専門の技術を職業とする者」という意味があるそうです。今後、ここらの専門家としてさまざまな分野での活躍が期待されます。
(堺景子教授)

併設校トピックス

関西大学初等部

第7回初等部研究発表会を開催しました

2月4日、全国各地から約900人の方にお申し込みをいただき、初等部の研究発表会を開催しました。本年度は「6年間の実践を基に再考した思考スキルを用いた授業デザイン」を研究テーマに、23の公開授業を行いました。公開した授業は、各教科・総合学習・ミュージアム学習です。また、本年度も中等部「考える科」の授業を2つ公開するなど、初中連携の取り組みも着実に進めています。今回の研究発表会では、授業について協議する時間を例年よりも長く設定したこともあり、われわれからの出力という一方通行ではなく、協議を通して多くのご示唆をいただくことができました。今回の研究発表会の成果と課題を踏まえ、今後も高い人間力を持った「関大っ子」を育てるために、初等部教職員は全力で取り組みます。
(教頭 長戸基)



関大トピックス

第1回学長奨励表彰式を挙

千里山キャンパスで3月16日、このたび新設された「学長奨励表彰式」の第1回授与式を挙りました。本表彰は、本学在学生の正課または課外における諸活動のうち、文化、学術、スポーツ、社会活動などにおいて、他の者の模範となりさらなる活躍が期待される個人または団体に授与するものです。従来、同活動において特に顕著な業績、成果、貢献等が認められる者に対して、「学長表彰」を授与してきましたが、「学生に誇りをもってほしい」という思いのもと、学生の諸活動を広く奨励することを目的に、その対象を拡大した表彰制度を設けました。

今年度は、個人4件・団体5件の学生らに対して、その多様な活動を称え、芝井学長から表彰状を授与しました。

2016年度学長奨励表彰受賞者

- 特定非営利活動グループ「あくせす・ぼいんと」
- 森口麻里絵(受賞時:大学院文学研究科博士課程前期課程2年次生)
- 北嶋未貴(受賞時:大学院文学研究科博士課程前期課程2年次生)
- 岡本一樹(受賞時:商学部4年次生)
- 人間健康学部・安田典典准教授ゼミ
- システム理工学部・計測物性工学研究室(田眞佳郎教授)
- 合田七穂(受賞時:システム理工学部4年次生)
- 体育会サッカー部
- ATルーム学生トレーナー部



第4学舎1号館増築工事が完了

千里山キャンパス第4学舎1号館増築工事が無事完了し、3月10日に竣工しました。第4学舎は理工系学部・研究科の学びやで、中でも1号館は1960年に竣工した工学部(当時)の最初の建物。今回の増築工事とともに1号館全体の耐震改修も行いました。

1階には授業支援ステーションと理工系3学部の指導・学習スペースとして、「学習支援室・協同学習室」を設置し、学習意欲を持つ学生の支援環境の改善を図ります。2階には、学習支援を受けた学生がモチベーションを保ちながら継続的に学習を行える「ラーニングcommons(サイレント)」とグループワークが行える「ラーニングcommons(グループ)」を設置。学生が協同または自主的に学修を行える環境を創出し、学生の自主的な学習とチームワークを育みます。3階・4階には、大学院生の「ゼミナール室」「院生共同自主研究室」を設置し、大学院生の学修深化ならびに研究者としての基礎力養成に取り組みます。



関西大学博物館 春季企画展「河内国府遺跡発掘100周年—近畿地方先史時代考古学のはじまり—」を開催中

2017年度春季企画展「河内国府遺跡発掘100周年—近畿地方先史時代考古学のはじまり—」を4月1日から関西大学博物館で開催しています。

藤井寺市国府遺跡は、1917(大正6)年から、京都帝国大学の濱田耕作教授や大阪毎日新聞社の本山彦一元社長などにより発掘調査が行われました。企画展では、今年、国府遺跡発掘から100周年を迎えることを契機として、関西大学博物館収蔵の資料を中心に、京都大学や大阪府教育委員会などの協力の下、さまざまな関連資料を展示しています。

【会期】2017年4月1日～
5月21日(日)10:00～16:00
【休館日】日曜・祝日・大学が定めた休日
5月21日(日)は特別開館日

【会場】千里山キャンパス 簡文館2階 関西大学博物館特別展示室
【入館料】無料



年史資料展示室企画展「人と社会をみつめて—関西大学社会学部50年のあゆみ—」を開催中

社会学部創設50周年記念事業「人と社会をみつめて—関西大学社会学部50年のあゆみ—」を4月1日から開催しています。社会学部は1967年に本学6番目の学部として創設され、2017年に50周年を迎えます。今回の企画展では、社会学部の創設から現在までのあゆみ、教育・研究のあらましについて、パネルや写真、ゆかりの品を展示しています。

【会期】2017年4月1日～
2018年3月24日(土)
10:00～16:00
【休館日】日曜・祝日・大学が定めた休日

【会場】千里山キャンパス 簡文館1階 年史資料展示室
【入館料】無料



関大人 四方山話 ◆「やりたいことが分からない時には」 梅田キャンパス事務室 財前英司



旧千円紙幣の肖像画にもなった文豪・夏目漱石。漱石は若い頃からやるべきことが見つからない不安や焦りの中で神経衰弱になるほど苦しんでいました。そして、イギリス留学中の下宿先で「他人のまねをするのではなく、やりたいことは自力で作り上げるより他にはない」という「自己本位」という考えにたどりつきます。

自己本位とは自分勝手な利己主義の意味ではなく、自らの感性を信じ、自分の個性を発展させることだと学生に向けた講演録であ

る『私の個人主義』で述べています。

漱石もそうであったように、自分がどうなりたいのか、本当は何をしたいのか、見つからない人も多いのではないのでしょうか。梅田キャンパスでは起業家の講演をはじめ、セミナーやイベントを連日実施することにより、多様な人々と接する機会をもうけています。キャンパスの愛称は KANDAI Me RISE (カンダイミライズ) です。ぜひとも Me (自分) を RISE (発展) させるキッカケを探しに来てください。

編集後記

皆さんは、大学キャンパスの周辺を散策したことはありますか。大学の影響は、周辺のまちに及びます。人のつながり、物や情報の取引による経済的なつながり、地域活動との連携、古くからあるキャンパスの場合は歴史的なつながりなど、大学との関わりがたくさん見つけられると思います。駅とキャンパスをただ行き来するだけでなく、少し寄り道してみると楽しい発見があるかもしれません。そして、私たちが、大学だけでなく、まちの人たちに支えられていることにも、改めて気付かされるはずです。(広報委員・環境都市工学部教授 北詰恵一)



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日:2017年5月1日(年9回発行)
発行:関西大学広報委員会
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
電話:06-6368-1121(大代表)

今月の表紙

3月に竣工した第4学舎1号館前で撮影 化学生命工学部 春名匠教授研究室の皆さん

(前列左から)村上嘉春さん、山西沙恵さん、浦山直士さん、
(後列左から)三輪佳祐さん、山西潤さん、藤川翔平さん、
西田健太郎さん、汪洋さん、中西優貴さん